

ECHIGO-TSUMARI ART FIELD

越後妻有「大地の芸術祭の里」総合案内所
〒942-1526 新潟県十日町市松代 3743-1
Tel 025-595-6688 / Fax 025-595-6181
rinkan@tsumari-artfield.com
<http://www.echigo-tsumari.jp>

被災地・地元・都市のこどもたち
各ジャンルの専門家による

越後妻有の林間学校一冬

越後妻有の地も雪害、長野県北部地震、水害とさまざまな災害に見舞われました。

そんな中でも、私たちは「人間は自然に内包される」という基本コンセプトを掲げ、「大地の芸術祭」をこれからも明るく元気に取り組んでいきます。越後妻有の豪雪を体験し、美味しいごはんと温泉、専門家やアーティストによる学校をこの冬も開講します。

東日本大震災ならびに長野県北部地震で被災され、避難を余儀なくされている方々を無料でご招待いたします。ぜひお越し下さい。

A コース： 12/24(土) - 25(日)

B コース： 1/14(土) - 15(日)

C コース： 2/25(土) - 26(日)

▼行程(予定):

(1日目) 10:30 まつだい駅集合→アートツアー・雪あそび→12:00 昼食→
13:00 ワークショップまたは豪雪体験→16:30 温泉→18:30 夕食→19:30 明日
へのフォーラム または 夜のプログラム

(2日目) 9:00 ワークショップまたは豪雪体験→12:00 昼食→13:00 まつだい駅解散
※Bコースのみ 17:00 まつだい駅解散

*各コースの詳細の行程はお申込者に改めてご案内いたします。

*天候によって当日プログラムが変更になる場合がありますが、ご了承下さい。

*東京からお越しの場合：往路 7:48 東京駅発 →10:27 まつだい駅着

復路 13:54 まつだい駅発→16:20 東京駅着(Bコース 17:15 発→20:00 着)

▼宿泊施設：

かつての小学校を改築した宿「三省ハウス」でおくつろぎいただきます
(1部屋に16床の2段ベットが並びます。男女別々のお部屋をご用意)

▼参加費：大人 20,000円 小人 10,000円(1泊2日)

*交通費、宿泊費、プログラム参加費、食事代(1日目：夕/2日目：朝・昼・夕/3日目：朝・昼)

*被災地の方は無料でご招待しています。

▼定員：25名

*小学生以下の参加者は大人の同伴でお申込み下さい。

▼多彩な講師・プログラム(予定):

A コース

モコメシ(小沢朋子・フードデザイナー)

吉見俊哉(社会学者、東京大学大学院教授)

キョロロ山散策、あんぼづくり

B コース

おおたか静流(ミュージシャン)

森まゆみ(ノンフィクション作家)

小正月・鳥追い、婿投げ・墨ぬり

C コース

高橋匡太(アーティスト)

森繁哉(舞踏家)、コンドルズ(パフォーマー)ほか

雪アートプロジェクト、雪の運動会

▼お申し込み：

大地の芸術祭の里総合案内所

TEL025-595-6688/FAX025-595-6181

*ホームページから申込書をダウンロードしてください。

*ツアー催行日の1週間前までに申し込みください。

▼旅行企画・実施：

(株)JTB 関東(さいたま市中央区新都心11-2)

観光庁長官登録旅行業第1578号 日本旅行業協会正会員

▼助成・協賛

助成：三井物産環境基金

現物協賛：キーコーヒー株式会社

小正月・どんど焼き



小正月・鳥追い



雪の運動会



雪アートプロジェクト



生きる証としてのささやかなお祭を

大地の芸術祭総合ディレクター 北川フラム

被災されたみなさんにつながるために

2011年3月11日の東日本大震災に続く翌12日の長野県北部を震源とする地震は、越後妻有地域を直撃し、作品施設の約半数が全壊・半壊・損傷を被りました。

東日本大震災による地震、津波、原発事故で亡くなられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、今もなお苦痛、不安のなかにいる皆さんに少しでもつながるべく、現地では様々な作業を続けています。被災された方々のお手伝いや越後妻有の施設・作品の修復の他、東日本大震災を、人類・文明の問題と捉え、当地域への資金的・人的サポートを行います。また、新潟県に避難している方々の夏耕冬読の場、就労の場を準備し、さらに海外・圏外のアーティストや応援者の来日、援助のための事務局を立ち上げ、これまでのアートネットワークを活かして、今回の震災とつながる活動を展開しようとしています。

多くの地域と助けあって生きてきた越後妻有

新潟県及び越後妻有地域は、中越大地震、中越沖地震を経験し、その過程で国内外の多くの方々の援助を受けてきました。また、有史以来、多くの避難者の行き着く場でもありました。この地域は、他の多くの地域とともに助けあいによって、やっと生きることができた場でもありました。「大地の芸術祭」は、その最初から「人間は自然に内包される」という考えかたから出発し、効率一辺倒、刺激と競争の近代、都市中心の世界を、都市の方たちとともに見直そうとしてきました。私たちは今こそ、大震災の被害を受けた東北の方々と繋がり、助けあって生き、生きる証としてのささやかなお祭を再生していきたいと考えています。

2011年5月(2011年6月23日発行 こへび新聞 VOL3)より抜粋

越後妻有の林間学校 夏・秋の様子

8月の毎週末、秋は月に1回、計8回開催しました。被災地の親子を中心に、元気いっぱい楽しみました。美味しい食事に温泉、参加者と住民、大地の芸術祭サポーター「こへび隊」とのふれあい、様々なジャンルの専門家やアーティストの授業・・・と充実した林間学校となりました。



8月13日 宮本亜門
「赤ずきん」の裏側のストーリーを探るワークショップ。「人と違うからおもしろい！」そんな亜門さんのメッセージを受け取った授業でした。



8月14日 日比野克彦
朝顔の絵を描いた和紙と竹で、種の形をした提灯をつくりました。最後は秋田の竿灯のごとく、みんなの提灯を青空高く掲げました。



8月27日 アドリエワン
竹を使って、みんなが集える縁台をつくりました。完成後に縁台で食べたカレーの美味しさはひとしおでした。



9月24日 青木野枝
鉄の溶断、溶接を体験。思い思いに描いた絵を、細かい線も先生と一緒に溶断し、オブジェをつくりました。



10月9日 鞍掛純一+日本大学
家を彫刻で彫り抜いた脱皮する家で、下駄を彫るワークショップ。みんな早速履いて帰りました。

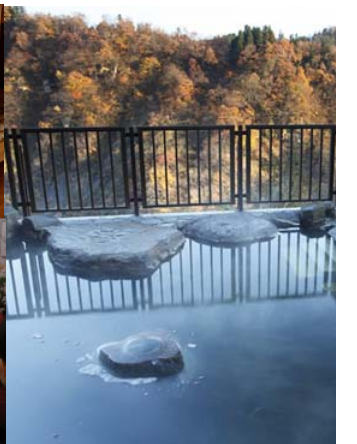


10月10日 稲刈り体験
アウトブランド KEEN が応援する棚田を、みんなで稲刈りました。刈った稲を束ねる作業に悪戦苦闘。



三省ハウスの美味しいごはん

温泉
地元野菜とお米、地元のお母さんたちがつくってくれるごちそうが並びます。豪雪地の知恵が詰まった保存料理も堪能。夜は日本三大薬湯の松之山温泉で暖まります。



▼その他、注意事項

- ・アレルギー・ぜんそく等をお持ちの場合、事前に医師に相談のうえ必ず薬をご持参ください。
- ・新聞、雑誌、テレビなどの取材が行われ、掲載される可能性がありますのであらかじめご了承いただきますようお願いいたします。
- ・現地は2-3mの積雪があります。お申込者にお送りする旅行のしおりに記載されている持ち物を確認し、暖かく動きやすい格好でお越しください。
- ・東北までの送迎には添乗員が、現地では林間学校スタッフがご案内します。